

## 危険な「ながら運転」なくせ

### あすから厳罰化

スマートフォンなどを使いながら車を走行させる「ながら運転」を厳罰化する改正道交法が、12月1日に施行される。県内でも「ながら運転」起因の死亡事故は後を絶たず、「あおり運転」とともに社会問題化している。県警は改正が危険な走行の抑止と運転マナー向上などにつながる機会と捉え、取り締まりや啓発を強化する。

改正道交法は、運転中の通話や画面注視などの違反「携帯電話使用等(保持)」と、それにより交通の危険を生じさせる違反「携帯電話使用等(交通の危険)」の各点数をはじめ、反則金や罰則の引き上げなどを定めた。

県警交通企画課によると、「ながら運転」による県内の交通事故件数は増加傾向が続き、2018年は計328件発生。09年と比べ10年間で3倍以上に増えた。スマホや携帯の注視・操作が起因し、09年～19年

## 県内でも死亡事故後絶たず

10月に起きた事故の死者は9人。うち7人が17年以降の事故で死亡した。

県内では島田市の新東名高速道で17年8月、大型トラックに追突された大型バイクの女性が死亡。トラックの運転手が携帯の画面に脇見して前方を注視していなかったのが原因だった。

18年3月に掛川市の新東名で起きた事故は、スマホ操作に気を取られ脇見をした大型トラックの運転手が、渋滞で減速していた乗用車に追突、乗用車を運転中の女性が命を落とした。今年6月には、携帯操作に気を取られた乗用車の運転手による死亡ひき逃げ事件も起きた。

県警の担当幹部は、動画視聴や地図検索も可能なスマホの普及拡大が事故増加の一因と指摘した上で、「一瞬の前方不注意も重大事故に直結する。職業ドライバーを含め運転者一人一人への啓発に力を入れる」と話す。(社会部・荻島浩太)

2019年11月30日朝刊

① 「ながら運転」とは、どのような運転でしょうか。

[

② 見出しに「あすから厳罰化」とありますが、いつからですか。

[ ]

③ 「ながら運転」が厳罰化した背景には、過去にどのようなことがありましたか。

[ ]

④ ③の事実から、あなたはどう思いましたか。

[ ]

年 組 名前